

# サニナビ

## 北九州



北九州市保健所  
食品監視検査課  
広域指導係  
小倉北区西港町 94-9  
TEL 093-583-2048  
FAX 093-583-2044

### 特集：異物混入について(最終回)

●従事者の衛生が最終製品の品質に影響  
工場・調理場で混入する異物の大半は、働いている人が持ち込んでいる可能性があると言っても過言ではありません。

例えば、出勤直前の身だしなみについて、髪の毛が服に付いていないかなどです。

### ●作業着は消耗品との認識が大切

調理専用の作業着を着用することが大切です。また、異物が持ち込めないような作業着にすることがです。ポケットやボタンがないものです。家庭での洗濯は避けましょう。家庭の洗濯物と一緒に洗濯することや、洗濯物をたたむことは異物混入の原因となります。

作業着も寿命があることを知しましょう。交換する回数を決めておくことが大切です。洗濯を繰り返して使用していると、繊維が毛羽立ってしまい、髪の毛等の異物が付いても落ちなくなります。

### ●工場・調理場での個人衛生

手に怪我などをした場合に使用するばんそうこう、包帯などの個人での持込は禁止です。事業者が指定したのだけを使用し、使用時に番号をつけて、管理し終業時に必ず責任者に渡します。



### ☆ ノロウイルスの時期です！

ノロウイルスによる健康被害は嘔吐と下痢が主な症状で、治療は対症療法です。回復するまで待つしかありません。特に、今の時期から春にかけて多く発生する傾向があります。ノロウイルス食中毒は、大規模食中毒になりやすく、特に注意が必要です。

そこで、ノロウイルスをご存知の方も、今一度再確認していただきたいと思えます。

### 【発生状況】

平成27年のノロウイルスの発生件数は、481件、患者数は14,876名で、病因物質別にみると事件数、患者数ともに第1位です。

### 【症状】

潜伏期間は、24〜48時間、主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、軽い発熱等です。通常は、これらの症状が数日続いた後、回復します。

### 【強力な感染力】

ノロウイルスに感染すると、ふん便、嘔吐物のなかに、大量のウイルスが排出され、その量は、ふん便1gあたり10億個以上になることがあります。また、ノロウイルスは10〜100個という少ない量で感染します。

また、不顕性感染といって、感染しても症状がない場合でも、ふん便中に大量のノロウイルスが排出されていることもあります。



### 【対策】

自分が患者にならないことです。

・食品の加熱は、中心温度85℃〜90℃以上で90秒以上加熱しましょう。

・家族内感染者からの二次感染に注意しましょう。特に、乳幼児の下痢便処理時などは感染のリスクが高くなります。

トイレット手洗いが最も効果的です。

・トイレ及びその周囲は、流行期にはノロウイルスに汚染されていることを前提に、清掃・消毒を行います。

・事故の大半はトイレからのノロウイルスを調理場に持込ことで発生しています。汚染されにくい場所から汚染されやすい場所の順に、次亜塩素酸ナトリウムなどの消毒液を使用して、消毒します。

・吐物処理は消火と同じ。初期対応が大事です。

健康管理の徹底と感染者への対応が重要です。

・毎日、健康管理表でチェックします。

・初発下痢患者の対応を的確に行い、感染者を拡大させないようにしましょう。

・発症者や不顕性感染者への出勤の取り扱い及び調理従事への制限などのマニュアルを作成することも重要です。

・10月から3月の間でノロウイルスの検査をすることが理想です。事故は多忙時に起こりやすいと言えます。とかく、忙しいときは、基本を忘れがちになります。そのため、これらの対策が有効に実施されていることを確認するためにも、組織で管理状況を検証することが重要です。

### 食 品 安 全 情 報

### ●チフス菌による食中毒疑いの発生について

10月7日付、厚生労働省から豊田市等を中心にチフス菌による有症者が発生している旨の発表がありました。

豊田市保健所が調査を行なった結果、市内で腸チフスの患者5人が確認されました。この内4人が9月1日または2日に市内の同一飲食店を利用したことが分かりました。保健所では感染拡大を防ぐため、当該飲食店を利用された方は症状の有無にかかわらず連絡するよう、呼びかけています。

### 【腸チフスとは】

腸チフスは、チフス菌という細菌の感染によって起こる疾患です。

### 【感染源】

チフス菌はヒトにのみ感染し、腸チフス患者のふん便と尿に含まれます。チフス菌よって汚染された水や食品を飲食することで感染が起こります。また、チフス菌が付着したもの(手など)から接触感染を起こすことがあります。

### 【症状】

潜伏期間は通常1〜2週間で、39度以上の高熱を伴って発症することが多く、脾腫、下痢、便秘、除脈、バラ疹などの症状を起こします。

### 【予防方法】

衛生環境の悪い地域や発展途上国に渡航した際は、未殺菌の水や氷、生野菜、果物などを食べないようにしましょう。

### 編集後記

過ごしやすい季節になりました。今月の写真は「サツマイモ」です。